

こたえ じしん 地震へのそなえ

じしん 地震へのそなえ

日本は、地震の多い国です。大きな地震は、いつ、どこで起きるか分かりません。だからこそ、ふだんからのそなえが大切です。

まず、家具がたおれないようにすることです。大きな地震では、重い家具がたおれてきて、けがをすることがあります。家具を金具でかべにとめたり、ねる場所の近くにせの高い家具を置かないようにしたりしましょう。

次に、水や食料をたくわえておくことです。地震の後は、水道や電気が止まることがあります。飲み水は、一人一日三リットルを目安に、少なくとも三分は用意しておくといとされています。懐中電灯やラジオ、薬なども、すぐに持ち出せるようにしておく目安です。

さらに、家族で、にげる場所や、れんらくの方法を話し合っておきましょう。

① そうしておけば、家族がはなればなれのときに地震が起きても、落ち着いて行動することが出来ます。

1 家具を金具でかべにとめるのは、どうしてですか。

大きな地震のとき、家具がたおれてけがをしないようにするため。

2 飲み水は、一人一日何リットルを目安にするとよいですか。

三
リットル

3 ①「そうしておけば」の「そう」が指す内ようはどれですか。

ア 家族で、にげる場所やれんらくの方法を話し合っておくこと
イ 家具をかべにとめること
ウ 水を三分用意すること

4 この文章で、筆者がいちばん伝えたいことは何ですか。

地震はいつ起きるか分からないので、ふだんからのそなえが大切だということ。

おうちの方へ

- 文章を読んだ後、家の家具の置き方や、避難場所を家族で確かめてみましょう。